



「岡山から平和のメッセージを発信し続けたい」と話す菅波氏

災害援助や難民救済、生ぶ。九五年には国連NGO
 活環境向上などに世界中を（非政府組織）に認定され
 駆け巡る国際医療ボランティア
 イアAMDA。一九八四年
 の設立から十七年がたつ。
 受賞は「岡山の発展と国際
 貢献に今後も尽くしなさい、という何よりの励まし
 と受け止めた」。

岡山大医学部在学中から
 アジア諸国を歴訪し、戦争
 のつめ跡や貧しい医療環境
 に直面。現地の医学生らと
 交流を重ねたのがAMDA
 設立のきっかけだった。

現在、三十カ国・地域に
 支部や事務所を持ち、国内
 外に約千五百人の会員を抱
 える。海外での活動実績は
 アジアをはじめアフリカ、
 中南米など約五十カ国に及
 ぶ。九五年には国連NGO
 （非政府組織）に認定され
 た。

いでしょう」と胸を張る。
 昨年、アジア・太平洋地
 域の大戦犠牲者の慰霊と簡
 易診療所の設置を合わせて
 行つ「魂と医療のプログラ
 ム」を開始。海外協力活動
 の人材養成の「国際貢献大
 学校」（岡山県哲多町）も
 今年八日に開校式を迎え
 る。新規事業も着々と展
 開し情熱は衰えを知らな
 い。

九五年の阪神大震災で
 は、AMDA関係だけで延
 べ約三千人、加えて多くの
 県民ボランティアが被災者
 に手を差し延べた。今年一
 月のインド西部地震の際に
 は、救援機を飛ばすわずか
 二日の間に三十トンの物資
 が県民から寄せられた。
 「こうした精神風土にA
 MDAは育てられた。日本
 のNGOで、うちほど地
 域に根付いている団体はな
 くす膨らむ。

人道援助に世界奔走